

若者円卓会議

(担当) 連携推進課

円卓会議では、市内3つの中学校で郷土キャリア教育の授業を行っています。タイトルは「多様な生き方の選択肢を知ろう」です。「にかほと都会はどちらが住みやすい？」をテーマにディベートをし、にかほと都会の良さや違いを客観的に考えたり、フレンチレストラン、ベビーマッサージ、革細工など、「にかほにこんな仕事もあるんだ！」という気づきになるような様々な職業を体験し、最後に私たち大人が歩んできた人生の話をします。

「にかほに残って〇〇に就職すれば安泰だから」そんな大人の言葉を聞いたのが企画の発端でした。子どもたちの可能性を狭めるような発言に、地元に残ってほしいという大人の切実さも分かりつつ、窮屈さを感じてしまいました。

誰しも、自分の見聞きした将来しか想像できません。だからこそ様々な人との出会いが、可能性を広げることに繋がります。私自身、たくさんの出会いが人生を豊かにしてくれ、中学生の時は想像もしなかった人生を生きています。そして、今後の人生も無限の可能性に溢れていると思っています。今はやりたいことや将来の夢がまだなくても、焦る必要はない。やりたいことは見つかった時から始めればい



vol. 6

郷土キャリア教育

地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ さき



いし、もしやりたいことが変わったら、何度でも生き方を変えればいい。そんなメッセージで授業を締めくくっています。授業後、生徒たちが書くアンケートには、「まだ将来の夢で迷っていても、大人になってからやりたいことや自分に合う仕事が見つかったりすると分かって、焦る必要はないんだと思わせてくれた」「にかほには何もないと思っていたけど、にかほにも住みたい思いが強くなった」というリアルな声が綴られています。

私たちは、にかほの良さを無理に伝えて「地元に残って」と留めるのではなく、一度外に出てみるのもいいけれど、にかほ市が「いつか帰ってきたい場所」になればいいと思いながら、にかほで楽しく暮らす自分たちの話をしています。生徒たちがにかほの良さを胸に羽ばたいてくれることを願っています。

円卓会議委員募集中！

右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。



▲職業体験（ベビーマッサージ）の様子



鳥海山・飛島ジオパーククリレーコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol. 131

『茅葺に息づく知恵と未来へのヒント』



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
おさふね ゆうき
研究員 長船裕紀さん

かつて人々の暮らす集落には、ススキやヨシを葺いた「茅葺（かやぶき）」屋根が連なり、季節の風景を形づくっていました。茅は身近な草原で刈り取り、葺き替えは地域の人々が協力して行う共同作業。自然の恵みを活かし、支え合いながら暮らす地域の知恵が息づいていました。

時代の変化とともに茅葺の家は減りましたが、近年その価値が再評価されています。茅は再生が早く、環境にやさしい素材であるだけでなく、茅を育てる草原（茅場）を適切に管理することが、二酸化炭素の吸収や貯留に貢献し、気候変動の緩和にもつながることが分かってきました。

さらに、茅場の草原には多様な植物や昆虫が生

息し、地域の生物多様性を支える大切な場所でもあります。茅葺文化は、地域の自然環境を守りながら、持続可能な社会づくりに寄与する仕組みでもあるのです。

また、茅葺や茅を刈り取る技術・習慣は、ユネスコの無形文化遺産にも登録され、世界的にも見直されています。鳥海山・飛島ジオパークでは、こうした文化と自然の関わりを「地球と人のつながり」として伝えています。

茅葺の屋根が語るのは、かつての暮らしだけではなく、自然と共に生きる未来へのヒントかもしれません。

※「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」



▲由利本荘市ミツ方森にて30年ぶりの茅刈り復活（2024年12月）

伊藤 盛雄 さん 令和7年新嘗祭献穀献納式に出席

ー農の国・日本の平和を願い粟を納めるー

10月21日、東京都千代田区にある皇居で令和7年新嘗祭献穀献納式が挙行され、本市より伊藤盛雄さん（田抓）が出席し、今秋収穫された新穀の粟を納めました。新嘗祭は、天皇が日本各地で収穫された五穀（米、麦、粟、豆、黍）を天神地祇の神々に共食される宮中最重要祭祀で、勤労感謝の日である11月23日に行われています。

本年、秋田県からは鹿角市から米が献穀され、本市から伊藤さんが粟を献穀しました。伊藤さんは、「春先より秋田県のご指導、ご協力を得ながら育成に努めて参りました。無事に献穀することができ、関係各位に深く感謝申し上げます。」と語ってくれました。



▲新嘗祭献穀献納式に出席した伊藤さん（皇居坂下門前にて）

小松 煌 さん 国民スポーツ大会ローイング競技優勝！！

ーにかほ市から日本を代表する選手にー

本市在住の小松煌さん（本荘高等学校端艇部）が、10月4日から7日にかけて、滋賀県・関西みらいローイングセンター（滋賀県立琵琶湖漕艇場）で行われた第79回国民スポーツ大会ローイング競技・少年女子シングルスカルの部で優勝し、見事日本一に輝きました。

小松さんは、これまで全国規模の大会で何度も優勝しているほか、本年8月には世界ジュニア選手権とアジアジュニア選手権に出場するなど、ローイング競技においては日本を代表する選手で、今後も活躍が期待されています。



▶母校・院内小学校にて撮影。
※院内小学校での観戦もレモニーの様子
は令和8年1月1日目で紹介します。

渡邊 直 さん 日本パラカヌー選手権大会優勝！！

ーパラリンピックロサンゼルス大会を視野にー

本市在住の渡邊直さんが、9月4日から14日にかけて、石川県木場潟カヌー競技場で行われた日本パラカヌー選手権大会において、KL3・200mで優勝し日本一となりました。渡邊さんは2020年に事故で脊髄を損傷し車いす生活になりましたが、リハビリでカヌー競技に取り組んでいます。

今後は石川県に活動の拠点を移し、引き続きパラカヌー競技で3年後のパラリンピックロサンゼルス大会への出場を目指します。市民の皆さん、これからも応援よろしくお願いします。



▶にかほ市で競技に打ち込んだ1年半を胸に、更なる高みを目指す渡邊さん

畑中 海音 さん 女子世界フロアボール大会 2025 出場！！

ーチームの大黒柱として、世界の舞台へー

本市出身で仙台大学フロアボール部に所属する畑中海音さんが、このたび日本代表として、12月にチェコで開催される女子世界フロアボール世界大会2025に出場します。フロアボールはスウェーデン発祥の6人制ホッケーでプラスチック製のボールをスティックで操り得点を競う競技です。

大学では、やったことのないスポーツに挑戦したかった畑中さん、フロアボールと出会い持ち前のセンスと体幹で日本代表になるまで上達。世界大会ではチームの大黒柱としてシュートを決めてきます。



▶大学の集大成として、全力を出し切りたいと意気込む畑中さん